

# 記者発表事項 (公益財団法人みやざき観光コンベンション協会)

|           |   |
|-----------|---|
| 情報提供日     | 平成27年2月26日                                  |
| 直通<br>担当者 | 0985-26-6100<br>コンベンション・スポーツランド推進局<br>後藤・河野 |

|      |   |
|------|---|
| 発表事項 | <b>第2回MICE研修会の参加者募集について</b>   |
| 概要   | <p>コンベンションや研修旅行など、いわゆるMICE（下記参照）の誘致は、県内外からのまとまった参加者を見込むことができ、宿泊や視察、食事、お土産等の県産品購入などが見込まれ、経済効果が高い取組みです。</p> <p>このことから、近年、各地域で誘致への取組みが進んでおり、特に、沖縄県を含め九州では、施設の新たな建設等のMICE誘致への取組みが強化されるなど、地域間競争が激しくなっております。</p> <p>当協会では、こうした競争に宮崎が勝ち抜くために、大学、団体、企業、行政等の関係者の連携はもとより、宮崎県内が一体となってMICE誘致を推進する必要があると考えております。</p> <p>このため、当協会においては、MICEについての理解を深め、MICE誘致を効果的に推進するための研修会を開催しており、本年度第2回目の研修会を別紙のとおり実施いたします。</p> <p>今回は、MICE施設の視察や、専門家による講演、さらにはMICE関係者によるパネルディスカッションを行います。</p> <p>企業や団体等MICEに関係される方々をはじめ、広く県民の皆様の参加を募集いたします。</p> <p>※MICE施設視察、研修会内容の詳細は、別紙をご参照ください。</p> <p>※MICE（マイス）とは、<br/>企業の会議 (Meeting)<br/>報奨・研修旅行 (Incentive travel)<br/>国際会議 (Convention)<br/>展示会・イベント (Exhibition/ event)<br/>の頭文字から取った造語です。</p> |

## 第2回MICE研修会

### 1 期日等

平成27年3月17日(火)  
シーガイアコンベンションセンター

### 2 会場等

#### (1) 研修会

- ① 会場 シーガイアコンベンションセンター4F「<sup>らんぎよく</sup>蘭玉」の間  
② 時間 14:00~16:30  
③ 内容

##### <第1部>

講演 『MICEが持っている多様な可能性と期待』  
講師 太田 正隆氏 (JTB総合研究所主席研究員)  
※講師略歴は、別添のとおり。

##### <第2部>

パネルディスカッション 『MICE誘致の産官学連携の必要性』  
パネリスト  
・ 県商工会議所青年部連合会会長  
米良 充朝氏  
・ 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター副センター長  
教授 末吉 益雄氏  
・ 宮崎県商工観光労働部観光物産・東アジア戦略局局長  
金子 洋士氏  
・ 太田 正隆講師

#### (2) MICE施設視察 (研修会の前に実施します。)

- ① 受付 シーガイアコンベンションセンター4F 蘭玉の間  
\*集合時間 12:50  
② 視察時間 13:00~13:45  
③ 視察場所 シーガイアコンベンションセンター

※研修会のみ参加も可能です。

### 3 申し込み、問い合わせ先

3月10日(火)までに、電話またはFAXで当協会へお申し込みください。

○申し込み先  
公益財団法人みやざき観光コンベンション協会  
MICE誘致担当 後藤・河野

TEL:0985-26-6100  
FAX:0985-26-6123

## 講師

### 太田正隆 氏

(株)JTB 総合研究所コンサルティング事業部 MICE 戦略室  
主席研究員



インバウンド及びコンベンションの企画運営を始め、企業ミーティング、インセンティブ、トレードショー、イベント等に長年従事。各国の MICE 事情、地域の MICE 戦略策定、MICE ビジネス構築、誘致計画、プロモーション計画の策定やマネージメント、マーケティング等、日本における数少ない MICE のエキスパート。

#### 主なプロジェクト実績

- MICE 施設のあり方に関する調査、MICE 研修プログラム設計等
- MICE 推進検討委員会座長 (2011) 観光庁
- ISO20121 (イベントマネージメントの持続可能性) に関する国内審査員
- 展示産業の活性化とビジョンに関する調査等
- 国際会議統計調査等

#### コラム・オピニオン

- [2015/01/15 コラム テーマ：宿泊・集客施設 Garbage can model ～意思決定のごみ箱モデルと、ごみ箱が担う最近の役割～](#)
- [2014/12/17 コラム 2014 年を振り返る](#)
- [2014/12/11 コラム 「2020 年に向けたスポーツツーリズムへの期待」～MICE Japan 2014・6月号より再掲～](#)

#### 経歴

国際会議事務局・ICS (現 ICS コンベンションデザイン) 入社、国際会議、イベント、インセンティブ、展示会等の企画運営を担当。同社関西支局にて西日本地域における同種業務を担当、1984 年より本社国際営業部にて国際会議、企業インセンティブ等を担当。1993 年、JTB 情報企画部出向 1995 年帰任、国際事業部、国際展示部、マーケティング部長等を経て、2005 年コンベンション総合研究所長を経て、2011 年 JTB グローバルマーケティング&トラベル出向、GMT ツーリズム総合研究所を経て、2012 年 JTB 総合研究所へ出向、東京国際大学国際関係学部客員教授 (MICE 産業論)、淑徳大学経営学部観光学科兼講師等